

# 図書館だより

新入生の皆さん、大阪産業大学入学おめでとうございます。  
図書館へようこそ！



環境デザイン学科 3年生 永広和也

## 新図書館システムが サポート

2002年コレクション展開催  
2002年5月9日(木)～5月11日(土)

## I N D E X 目次

- 総合図書館長に就任して ..... 2
- 最近入った「就職コーナー」図書の一部紹介 ..... 3
- 2002年コレクション展の開催について ..... 3
- 新図書館システム—新OPACを使って見よう！— ..... 4・5
- 学生からのメッセージ ..... 6・7
- 寄贈図書について ..... 7
- 図書館ガイドマップ ..... 8・9
- 「今、話題になっている本」コーナーを開設 ..... 10
- 平成14年度総合図書館開館スケジュール ..... 11
- 学生(選書)モニター実施結果について・後援会寄贈について ..... 11
- 総合図書館インフォメーション ..... 12





## 総合図書館長に就任して

新総合図書館長 経済学部教授 大川 勉

この4月、図書館長に就任いたしました。もう5年前になりますが、私が28年在職した大阪市立大学を定年退職する前の3年6ヶ月というのは、殆ど研究する暇もないほどに多忙を極めました。というのもそれまで長い間懸案であった同大学での図書館の建替えの時期にあたっていたからでした。その際、図書館と計算センターを統合することで情報化時代の先取りをすることを目指して、同大学に国公立大学としては恐らく最初で、しかも最も巨額な工費が投じられた学術情報総合センターの完成を見届けた上で、最後の図書館長として退任したわけです。

その建設計画をたてる際に、北海道大学や一橋、東京、京都大学、あるいは上智、早稲田、法政大学さらには、会津大学（ここにはコンピュータ理工学部という面白い学部が設置されていて教員の半数は外国人で、全学生にワークステーションが割り当てられているという県立の大学で最近創設されたものです）といった日本の主要な大学の図書館や国立国会図書館などを見学してきました。勿論、これらは私自身が見学した大学の名前ですが、それ以外のところにもいろいろ分担して同僚の人たちに見学にもしてもらいました。

その上で予算をたっぷり（というのもバブルの最後の時代で大阪市もかなり余裕があったからです。誰か口の悪いOBの人があれば「バブルの搭」だと憎まれ口をたたいていたのを覚えています）つけてもらったのですから、随分と立派なものになっています。

なかでも図書館に興味を持つ人ならば、誰でも知っていると思いますが、図書の自動搬送システムを当時の技術では、最高のものを設置し、更に図書の自動搬送ロボットを工学部の先生たちに頼んで特別に作ってもらいました。今では大学病院などでも手術器具、医療道具などを自動搬送ロボットで運んでいますから、同じようなものを想像してみてください。少なくとも大学の図書館でこのような機器を使っているところは、当時はなかったと思います。

なぜ私が今こんなことを書いているかといいますと、バブル時のように日本経済が得意の絶頂期にあって、まさにもう日本はアメリカにも学ぶものがないと財界人が思い込んでいた時代に、こういう教育分野に巨費（298億円です）を投じてくれた市長さん（故人です

が西尾正也という人です）がいたということを知ってもらいたいからです。私自身はコンピュータを長い間、研究道具として使ってきましたのでこの分野でわれわれがアメリカを追い越していたとは到底信じられないのですが、当時そのように思っていた人たちが沢山いたということは事実です。このような自己陶醉の時代が終わって、日本人全体が、今、喪失感に打ちひしがれています。ついこの間のことになりますが、小泉純一郎首相が、たしか議会演説か街頭演説でのことだと思いますが、「米百俵の精神」を標榜していました。しかしその舌の根も乾かぬうちに、教育予算を大幅に削っていたのには幻滅させられました。この精神というのは幕末の長岡藩でなにはさておいても教育のためにその百俵の米を投資するというのではなかったのかと思いますが、日本育英会資金なども減額あるいは将来的には民営化（銀行に任せるといいます。まさにこの人が郵政業務の民営化というのも銀行のためなのでしょう）というのに誰も異議を申し立てないという現状は、嘆かわしい限りという他はありません。

そこで私は図書館長としてお願いしたいのですが、大学は情報と知識の殿堂でなければならないのですから、その中心になる図書館の充実こそが大学の格を作り上げるのであり、それがひいては日本社会に貢献しうる卒業生を生み出す原動力であることを全学の教職員や学生諸氏に理解していただきたいということです。工学部系の研究者の方々には古い図書などは無用の長物のように見えるかもしれませんが、本を読まない学生があまりに多いということは、つまりは現代技術を理解する力の不足を結果することになるのではないのでしょうか。第一コンピュータ時代だといっても、たとえそれがディスプレイ上であっても、文字を読み取り、理解する能力を必要とします。その力を養うのは、やはり専門書などではないのでしょうか。漫画ではだめだと思います。そして学生諸君がゆったりとした良好な環境で書物に没頭できるような環境こそが、その能力を高めるための最大の大学からの贈り物だと思うのですが、如何でしょうか。

館長就任にあたって、皆様方のご理解をお願いするために駄弁を弄しました。

## 最近入った「就職コーナー」図書の一部紹介

図書館3階に「就職コーナー」を設置しています。一般常識や面接、マナー等就職活動に役立つ本をはじめ、各種資格・検定に関する本も充実しています。また、学生の皆さんからの要望により、「就職コーナー」の図書を貸出予定にしていますので、是非ご利用下さい。(貸出開始予定時期は掲示します。)

書名	著者名	出版社
英文履歴書の書き方・見せ方	佐々木南美著	日本実業出版社
一般教養の天才 2003年版	小松公夫著	早稲田経営出版
就職活動こんなときどうする事典 2003年度版	就職情報研究会編	実務教育出版
作文・小論文の書き方 2003年就職試験	就職システム研究会編	池田書店
時事問題の基礎知識2002	ダイヤモンド社編	ダイヤモンド社
図解企業グループと業界地図 2003年度版	キャリア・デベロップメント・センター著	高橋書店
図解時事用語 2003年度版	現代用語検定協会監修	高橋書店
初級シニア問題と解説	福岡宏訓著	新星出版社
ひとりで学べる通関士試験	菊地文司、朝比奈高一監修	ナツメ社
10年間の宅建問題集 平成14年版	住宅新報社編	住宅新報社
最新ケアマネージャー合格完全ガイド	山口修監修	日本文芸社
ワープロ技能検定2級試験問題集	島本美津代監修	成美堂出版
2002年度版 基本情報技術者完全攻略	春原武彦著	オーム社
働きたい会社がわかる自己分析の本 2003年版	日経事業出版社編	日経事業出版社
就職活動の強い味方新聞の読み方がわかる本 2003年度版	新星出版社編集部編	新星出版社

## 2002年コレクション展の開催について

本年も引続き所蔵コレクションの展示会を開催します。主な展示内容は、経営・経済学の古典として有名なF.W.テラー著「科学的管理法」などを中心として、古地図、浮世絵等普段直接目にするのできない貴重な資料を展示しますので、この機会に是非お立ち寄り下さい。

開催日時：2002年5月9日(木)～5月11日(土)

午前10時～午後5時 (最終日は午後4時まで)

会場：図書館3階第2閲覧室



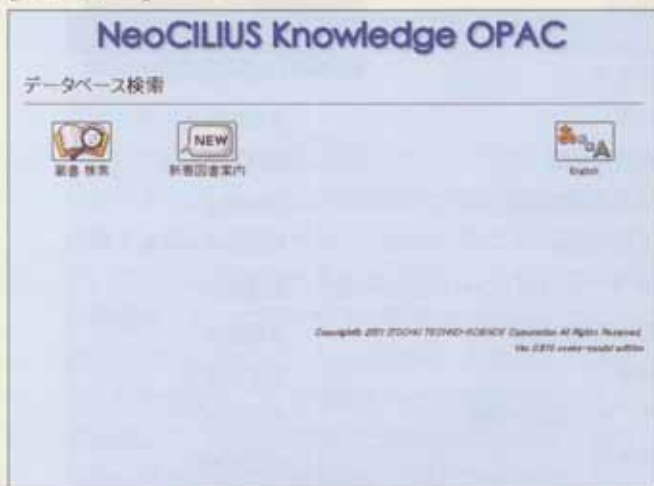
← テラー  
Taylor, Frederick Winslow, 1876-1915  
The principles of scientific management, 1911  
『科学的管理法』巻6冊  
A treatise on concrete plain and reinforced, 1905 (1<sup>st</sup> ed.)  
A treatise on concrete plain and reinforced, 1909 (2<sup>nd</sup> ed.)  
On the art of casting metals, 1906  
Shop management, 1911  
Addresses and discussions at the conference on scientific management, 1912  
Concrete casts, 1912

2002年  
大阪産業大学  
総合図書館  
コレクション展  
2002年 5月9日(木)～5月11日(土)  
午前10時～午後5時 (最終日は午後4時まで)  
場所：大阪産業大学 総合図書館  
TEL: 072-873-3001 FAX: 072-873-1001  
〒574-8530 大阪府八尾市中央1-1-1



# NeoCILIUS Knowledge OPAC

## 【メニュー】



### 〈メニュー画面のアイコン〉

- 蔵書検索 (OPAC) の画面に移る
- 英語表示切替
- 新着図書案内

### 〈各画面のアイコン〉

- トップメニューに移る
- 一つ前の画面に移る
- 入力画面に戻る / 一覧に戻る / ヘルプ

## 【検索】



ワード・書名・著編者及び履歴を使つての検索が可能です。  
 全ての検索において大文字・小文字、ひらがな・カタカナ、  
 全角・半角、濁音・清音、促音・拗音は区別なく検索できま  
 す。

下方の条件のみでの検索はできません。

- ・ 出版者は前方一致検索をお勧めします。
- ・ 出版年

(例)	1999	—	2002	1999年から2002年まで	} に出版
	1998	—		1998年以降	
		—	1975	1975年まで	
	2001	—	2001	2001年	

### ① ワード検索

書名／著編者／件名／フルタイトルキー／全て の項目に対する検索が可能です。

単語を入力して検索を行います。検索語を入力し「検索」をクリックします。

(例)「環境とエネルギーの科学入門」というタイトルの図書を探すには

→「環境 エネルギー 科学 入門」「環境 エネルギー」「かんきょう えねるぎー かがく にゅうもん」

●欧米語の冠詞・前置詞・接続詞、日本語の助詞 (the、and、て、に、を、は、と、の、等) は検索語にはなりません。

ただし、例外として、フルタイトルキーからの検索時は助詞が検索語となります。

その場合は、「は」→「わ」・「を」→「お」と読みで入力して下さい。

●複数の単語をスペースで区切って入力→AND検索になります。

●複数の単語をパイプ「|」で区切って入力→OR検索になります。

●単語の後ろにアスタリスク「\*」を入力→単語の前方一致検索になります。

●著編者は姓と名の間にスペースを入れて検索して下さい。団体名は書名と同様単語単位で入力して下さい。

### ② 書名検索

書名の冒頭から前方一致で検索を行います。検索語を入力し「ブラウズ」を押すと、書名の一覧が表示されます。

該当の書名を選択して「検索」をクリックして下さい。

●書名を冒頭から入力して下さい。途中まででも可能です。冒頭の冠詞は無視されるので、入力してもしなくても結果は同じになります。

●ヨミの場合、日本語の助詞は「は」「を」→「わ」「お」と入力して下さい。

## を使ってみよう！ —図書館の使い方シリーズ No.7—


### ③ 著编者検索

著编者の冒頭から前方一致検索を行います。検索語を入力し「ブラウズ」を押すと、著编者名の一覧が表示されます。該当の著编者を選択して「検索」をクリックして下さい。

●姓を先に、姓と名の間にスペースを入れます。漢字の団体名などの場合はスペースは必要ありません。

### ④ 履歴検索

他のタブで行った検索の履歴を組み合わせての検索や、出版年・出版者等の条件を追加しての検索もできます。AND検索・OR検索・NOT検索が可能です。

★履歴は残り続けるので、検索が終わったら  でトップメニューに戻して下さい。

### 【簡易書誌一覧】

検索結果が複数の場合は、一覧が表示されます。詳細を見るには、書名をクリックして下さい。

並び替えボタンで並び順を変更することができます。

### 【詳細書誌+所蔵一覧】

種別	請求番号	資料ID	巻次	所在	状態	予約	返却予定日	貸出
U	318/32	02405792		図書部 2F 図書中蔵 一般図書2F				

上段の枠内に詳細書誌、下段には請求番号・所在・状態といった所蔵情報が表示されます。

**必ず確認して下さい！！**  
 所在：何階にあるのか？  
 請求番号：資料の住所！  
 状態：貸出中の場合は予約もできません。  
 (手続きはカウンターで)

\*何かわからないことがあれば  
 カウンターで尋ねてください。



## 「私にとっての図書館」



大学院 経営・流通学研究科

2回生 ソウエン

## 十分な資料

「図書館は学生時代の実力養成所です」と図書館案内書から読みました。留学生として自分の体験からいえば、図書館をうまく利用できれば充実な留学生生活を送れると思っています。

授業の勉強は勿論、レポートを書く前に大量の資料収集が欠かせないことになっています。しかも、留学生たちは言語の面でまだ障壁が存在しています。いつも、原書をなかなか理解できない時、図書館の中国語版の訳文は随分役立ちます。対照しながら読むととても楽ですよ。

また、先日図書館で新しい発見がありました。普通の図書館で珍しい中国古典文学作品を何冊も見つかりました。ずっと古典文学に興味を持っている私はやったと思って急いで手に取って読み始めました。これも、ホームシックに効く「お勧めの薬」だと思います。

留学生のみなさん、大学図書館が「学習・情報センター」として機能し、我々が調べたい、知りたいと思うことが知りうる十分な資料を蓄えています。これは我々有意義な留学生生活にはどんなに意欲的なものになり、どんなに活動が広がっていくだろう。きちんと考えてみてください。

さらに、今までは書物で読み取るしかなかったことが、DVD、ビデオやCD-ROMで動き、音で表現されます。インターネットでさらに広いところ、遠いところへ探しにいきます。大学図書館が我々にとってどんなに魅力のある場所になるか自分で十分に確かめてください。



## 「私の図書館利用法」



工学部 電気電子工学科

3回生 竹中 康剛

## 静かな環境

私は普段あまり図書館を利用していませんでした。テスト前や課題の調べ物の時になると学習室に行き、すぐに帰宅する程度の利用度です。しかし、2回生になって、実験を受けるようになってからは、レポート作成に図書館の参考文献が必要になり、よく利用するようになりました。図書館のいいところは、静かな環境と、手元に豊富な資料がある所だと思います。これほど便利で恵まれた環境は他にないでしょう。

そして、利用回数が増えるたびに、私の図書館利用法も少しずつですが変わってきました。勉強での利用法以外にも、魅力的な設備が豊富にそろっていることが分かってきたのです。「視聴覚設備」や「インターネット検索設備」等です。特に視聴覚設備は充実していて、DVDソフトも観覧することが出来るようになってきました。勉強の合間に、映画などを観てリフレッシュするのもいいですね。いつもほとんど満席で、利用できず残念です。

私が特に気に入っているのは、学生が選書した図書のコナーです。色々なジャンルの図書が多く、趣味に合ったものがたくさんあります。また、同じ世代の学生が選んだだけあり、読みやすく、新しい図書が多くて魅力的です。

産大生の人で、まだ一度も図書館を利用したことのない人や、ほとんど利用していない人がたくさんいると思いますが、利用できるものは最大限利用したほうがいいと思います。もちろん、その時はマナーを守って利用したいですね。

## 私を旅へと導いた本



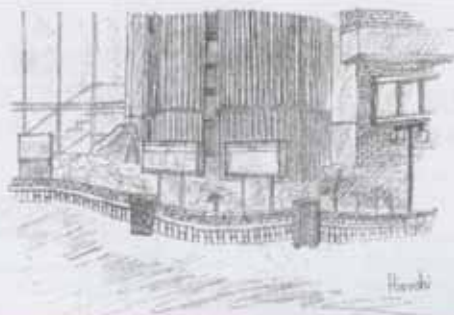
工学部 環境デザイン学科  
3回生 堀川 もと恵

子供の頃、家にあった「河童が覗いたインド」という本を読んだことが始まりでした。この本の面白いところは、たくさんの絵が入っているところ。それもただの風景画ではなく著者の「妹尾河童」さんが興味を抱いたたくさんの国のホテルの部屋やトイレの形など他にも様々なものの絵が描かれています。それに彼は非常に注意深い観察力があるので、その文章をひとつひとつ読むともうその世界へと引き込まれていきます。そして、私はいつかこの人のような旅をしたいと思うようになり、この本以外にもいろいろな国の紀行文や文化、習慣について述べられている本のとりことなり、外国へと憧れるようになりました。

私は今まで3回海外に旅行しましたが、2回目までは私にとって旅と呼べるような旅行ではありませんでした。

## かけがえのない本

1回目も2回目も短期ホームステイで、ツアーや学校を通して行ったので泊まる場所も訪れる場所も人任せなところが多かったように思います。3回目は今年の春休みに中国に20日間ほど行きましたが、今回で初めて旅だと言える旅行をしました。やはり旅といえば、自分で行きたいところを決めて宿の手配も自分の力でするようなもの。全ては受動的でなく能動的なものが私の考える旅です。そこで、今お勧めなのが「ガンジス河でバタフライ」という文庫本です。私も著者の「たかのてるこ」さんのようにパワフルかつユーモラスな旅を心がけるつもりです。1冊の本から違う人生が開けるといっても素晴らしいことです。皆さんも自分にとってかけがえのない本を見つけてください。



## 寄贈図書について (中川 米造先生)

### 医療倫理学関係の図書約6,000冊

このたび、故中川米造先生ご所蔵の図書約6,000冊が本学図書館へ寄贈されました。中川米造先生は、本学人間環境学部助教授中川晶先生のご尊父であり、蔵書の内容は医療倫理学関係を中心に広く宗教学・哲学関係にも及んでいます。

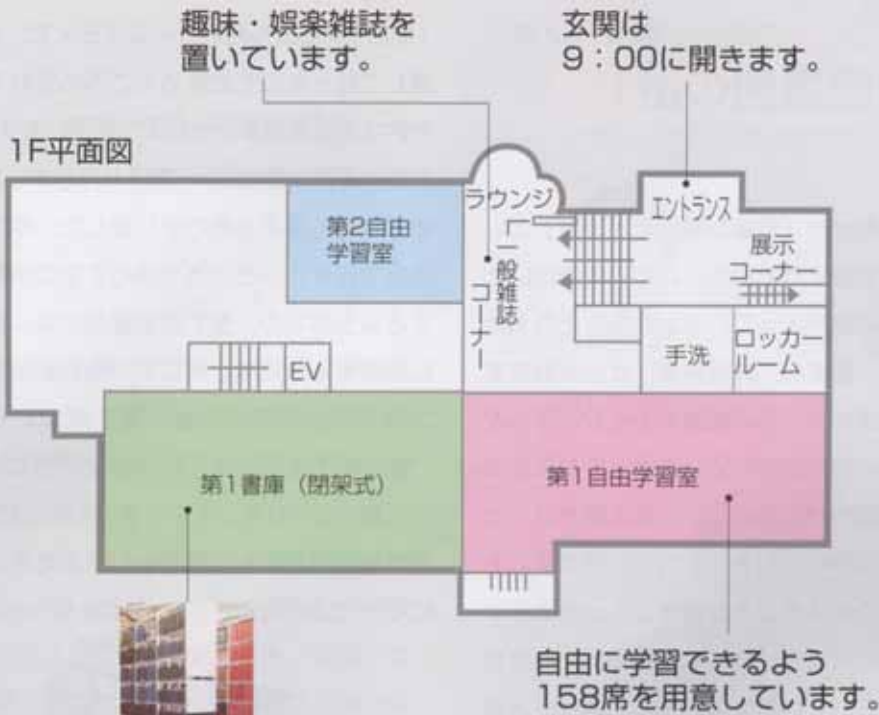
この寄贈図書は、中川米造文庫として一括配架予定にしています。



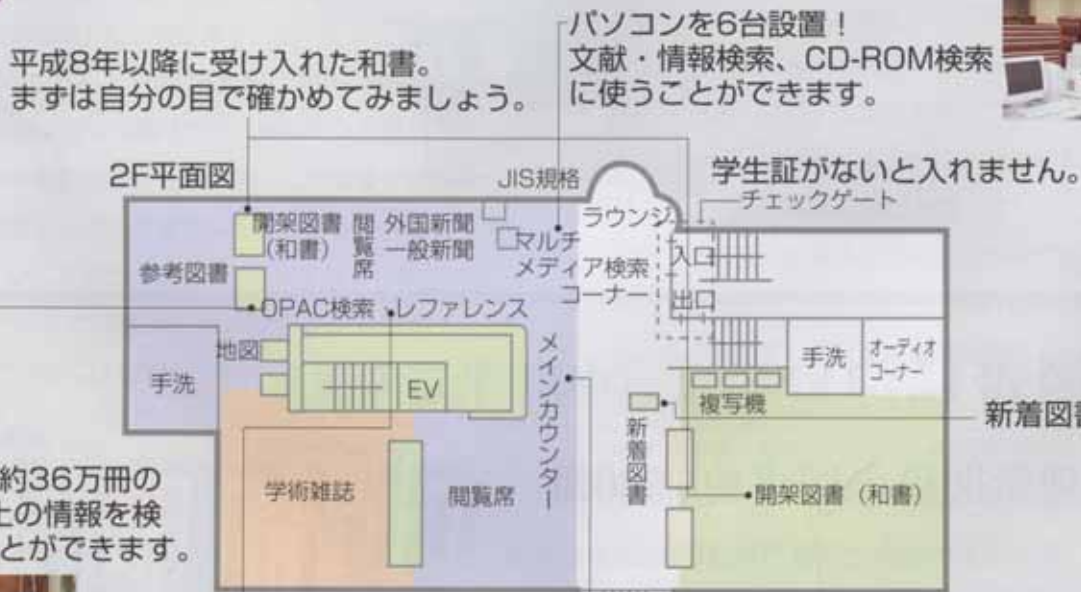


# 図書館ガイドマップ 1階・2階

## 1階



## 2階





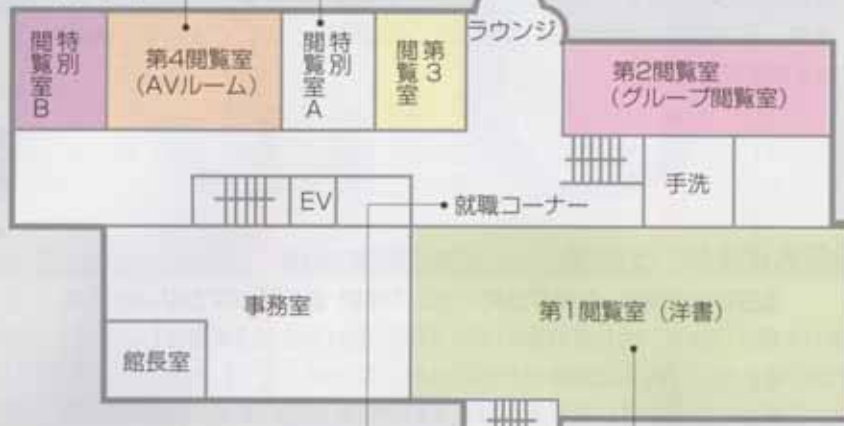
# 図書館ガイドマップ 3階・4階

## 3階



世界一級のオーディオを設置！  
第1月曜日と第3木曜日には  
ライブラリーコンサートを行っています。

3F平面図



マイクロリーダープリンターで  
マイクロ資料を閲覧できます。



就職・資格試験に関する  
図書・雑誌があります。

学習のために座席を  
173席用意しています。

## 4階



4F平面図



平成7年までに受け入れた和書。

# 1階展示コーナーに新しく「今、話題になっている本」コーナーを開設!

本学学生の皆さんを含め、多くの利用者に図書資料により親しみを持って頂けるよう、新たにコーナーを開設しました。1ヶ月に1回程度展示内容を更新していく予定ですので、是非一度、お立ち寄り下さい。

なお、展示コーナーの図書は利用(貸出)できます。

「今、話題になっている本」5冊を紹介します。(平成14年4月25日現在)

## 「チャイナ・インパクト」

(請求番号 332.22/243)

大前研一著 出版社:講談社

・ビジネス界において、最近特に注目されている中国。その役割と重要性を著者が中国各地を取材し書き上げた一冊です。産業、経済分野の側面から、中国を1つの国単位としてではなく、地域単位に取り上げ、分析している作品です。



## 「世界がもし100人の村だったら」

(請求番号 304/192)

池田香代子再話, C.ダグラス・ラミス対訳 出版社:マガジンハウス

・「いま世界には約63億の人間がいます。もしそれを100人の村に縮めるとどうなるでしょう?」というメールの問いかけから始まり、「何人は栄養が十分でなく、何人が・・・」といったようにこれらの様々な問いかけから皆さんがどう感じられるかは人それぞれだと思います。民族、宗教、人種などの国際社会を一つの村として考えてみると、今までの考え方が幾分変わってくるのではないでしょうか。自分より不幸な人がたくさんいるから自分は幸せだと感じさせてくれる作品でもあります。



## 「金持ち父さん貧乏父さん: アメリカの金持ちが教えてくれるお金の哲学」

(請求番号 159/57)

ロバート・キヨサキ, シャロン・レクター著; 白根美保子訳 出版社:筑摩書房

・「お金持ちになるためには、たくさん稼ぐ必要がある」という考え方を持っている人は、この本を読んでみて下さい!きっと、その考え方は変わるはず!!「生きたお金の使い方」を学びたい人には、お勧めの1冊です。この本の原書である「RICH DAD, POOR DAD」は、著者が作ったビジネス教育スクールの教材として書かれたものでもあります。



## 「狂食の時代」

(請求番号 498.54/18)

ジョン・ハンフリース著; 永井喜久子, 西尾ゆうこ訳 出版社:講談社

・狂牛病に始まり、農薬、殺虫剤、食品添加物など「食」の世界において、様々な問題が引き起こされている現在、本当に安全な食品とは?!その実体、及び「食」の危機について興味のある人は是非読んでみて下さい。



## 「官邸 上・下」

(請求番号 913.6/450/1~2)

成田憲彦著 出版社:講談社

・元総理秘書官により明らかにされる「日本の政治中枢における全貌」。官邸と「抵抗勢力」との関係など、複雑な現在政治のあり方に関心のある方にはお勧めです。





# 平成14年度総合図書館開館スケジュール

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1	1	2	3	4	5	6						1	2	3	
6月	2	3	4	5	6	7	7	8	9	10	11	12	13	8月	4	5	6	7	8	9	10
	9	10	11	12	13	14	14	15	16	17	18	19	20		11	12	13	14	15	16	17
	16	17	18	19	20	21	21	22	23	24	25	26	27		18	19	20	21	22	23	24
	23	24	25	26	27	28	28	29	30	31					25	26	27	28	29	30	31
	30																				
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6			1	2	3	4	5							1	2
9月	8	9	10	11	12	13	6	7	8	9	10	11	12	11月	3	4	5	6	7	8	9
	15	16	17	18	19	20	13	14	15	16	17	18	19		10	11	12	13	14	15	16
	22	23	24	25	26	27	20	21	22	23	24	25	26		17	18	19	20	21	22	23
	29	30					27	28	29	30	31				24	25	26	27	28	29	30
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4								1
12月	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2月	2	3	4	5	6	7	8
	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18		9	10	11	12	13	14	15
	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25		16	17	18	19	20	21	22
	29	30	31				26	27	28	29	30	31			23	24	25	26	27	28	
日	月	火	水	木	金	土	開館時間														
3月	2	3	4	5	6	7	開館時間：平日 9:00~20:30 土曜日9:00~19:20														
	9	10	11	12	13	14	赤：休館日														
	16	17	18	19	20	21	内：閉館時間 平日16:30・土曜日12:00														
	23	24	25	26	27	28	内：夏期期間の開館日 8月2日~9月20日														
	30	31					(開館時間 平日10:00~16:00 木曜日のみ10:00~18:30)														
							(注)：大学行事等により開館日・開館時間を変更する場合は、事前に告知します。														

## 平成14年度 第4回学生（選書）モニター実施結果について（報告）

学生の視点で本を選ぶ学生選書モニターを、昨年11月10日（土）に紀伊国屋書店梅田本店で実施しました。

総合図書館では、学生にとって「よりよい図書館づくり」を目指し、学生の図書資料の充実を図っています。そのため当日は、学部学生、大学院生、留学生の代表ら18名と、松下図書館長、影本図書館委員、木村事務部長、大園後援会長、図書館職員5名が参加しました。

選書結果は、図書資料が1,800冊、視聴覚資料が130点となりました。

参加した学生の感想として、「学生側の視点で基礎的な本を中心に選書ができて満足」、「一生の内非常に貴重な経験をした」、「他大学に自慢のできる図書館を作れると思う」、「選書した本を図書館で読める魅力を感じた」など、ほぼ全員が今回の企画に好印象を持っており、大学図書館にとって有意義であったと思います。

今年も、11月の読書週間に「学生（選書）モニター」を予定していますのでどしどし参加して下さい。

## 後援会寄贈について

本学後援会から総合図書館に対して毎年学生用資料として、寄贈していただいています。

昨年度は、左記掲載の第4回学生（選書）モニターを実施した図書の内、300万円相当を寄贈していただきました。

ここに感謝し、厚く御礼申し上げます。





# 総合図書館インフォメーション

## 平成14年度 図書館ガイダンスに参加しよう！ (みなさんの学問と研究をサポートします)

“新入生ライブラリー・クイックツアー”を4月8日(月)から10日(水)の3日間実施しました。ツアーには、述べ43名の新入生の参加がありました。

クイックツアーは、図書の利用方法を知ってもらう為に新入生を対象として、短時間(30分間)で館内ツアー、図書の探し方、OPAC(コンピュータ検索法)の説明コースです。またゼミ単位・授業単位のガイダンスも、4月から5月にかけて約27ゼミ(約680名)の講習を予定しています。



### 今後のガイダンスの日程は、次のとおりです。

#### 自由参加 ライブラリーツアー

- 内容：①「図書館の達人」ビデオ放映  
②館内ツアー ③本の検索方法
- 5/20(月) 11:00~12:00 14:00~15:00
- 5/21(火) 11:00~12:00 17:00~18:00
- 5/22(水) 11:00~12:00 <各1時間>

○ 集合は2階カウンター前です。もし、参加希望者で日程に合わない方はカウンターに申し出てください。

#### 文献・情報検索ガイダンス (全学生・院生対象)

- レポート・卒論の作成に役立ちます。
- 6/12(水)、6/13(木)、6/14(金)
- 10/1(火)、10/2(水)、10/4(金)
- 各14:00~15:00 <各1時間>

### 新図書館システム (NeoCILIUS) の稼働について

電子図書館機能の向上を図るため、平成14年6月、図書館システムを現在の「CILIUS」から「NeoCILIUS」にバージョンアップします。同時にOPAC(コンピュータ所蔵検索)の画面も一新し、より見やすくなります。詳しいOPACの使い方はP4~5で確認してください。

OPAC  
NeoCILIUS

### 総合図書館規程の 主たる改正のお知らせ

図書館サービスの拡大と利用の便を図るため、平成14年4月1日より、「総合図書館規程」の主たる改正として貸出冊数と期間が、次の通りになります。

(注)「その他職員\*1」とは、派遣職員、アルバイト(パート)、「その他\*2」とは、短期留学生、市民講座受講者。

(貸出冊数と期間)  
第10条 普通図書の貸出冊数および期間は、次の通りとする。

種別	平常貸出		休館中貸出	
	冊数	期間	冊数	期間
本学専任職員 名誉教授	50	6ヵ月	平常貸出と同じ	
非常勤講師 客員教授 嘱託職員 大学院生 研究員 研修員	20	3ヵ月	平常貸出と同じ	
学生 研究生 科目専履修生 大学院修了者 卒業生 その他職員*1 その他*2	5	2週間	7	当該休館中

### 編集後記

この世に生を受けてもの心がついた頃から20数年、戦争の中でしか生きてこれなかったとしたらどうだろうか。個々の人間が0才から20才まで、その世界しか知らずに生きてゆく事が真に「成長した年月」と言えるだろうか。

戦いの連続の中でそれでも生命の営みだけは保たれてゆく。何が正しくて真実に値いするのか、なぜ自分はここに存在するのかと問うた時、的確な答えを出してくれる大人達も又、戦う事以外の何ものをも持ちえなかったとしたら……。

“宗教は学ぶべきものではない。ただ信じることだ”……これは何か恐ろしいものを含んではいないだろうか。人が人の心を理解するところに教養が生まれるという。その教養こそがまさに人へのやさしさや思いやりや、いたわりそのものではあるまいか。

しかし皮肉にも戦いによる破壊や殺戮は続いている。21世紀をささえるべき若人や幼き子らの進むべき道が希望ある安全な未来である事を切に望む。

(H.S)

図書館だより No.10

発行日 平成14年5月9日

編集・発行 大阪産業大学総合図書館

大阪府大東市中埴内3丁目1-1

Tel.072(875)3001(代表)

Fax.072(873)1664(直通)



この印刷物は、環境保護のため、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

印刷・製本 (株) 藤井印刷店